

期待（五輪前）と結果評価（五輪後）の両面から分析

バンクーバー冬季五輪の選手と競技に関する調査（速報）

各部門1位は…

<p><b>感動</b> 指数</p> <p><b>浅田</b> 選手</p> <p>（フィギュアスケート）</p>	<p><b>活躍満足</b> 指数</p> <p><b>長島</b> 選手</p> <p>（スピードスケート）</p>
<p><b>評価上昇</b> 指数</p> <p><b>穂積</b> 選手</p> <p>（スピードスケート）</p>	<p><b>知名度上昇</b> 指数</p> <p><b>國母</b> 選手</p> <p>（スノーボード）</p>

2010年3月8日

産業能率大学スポーツマネジメント研究所

この資料に関するお問い合わせ先

（学）産業能率大学 企画広報部企画広報課 担当：秋山（あきやま）

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

電話：03-3704-9040、ファクス：03-3704-9404

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：宮内ミナミ・産業能率大学情報マネジメント学部長）は、バンクーバー冬季五輪の閉幕後に、日本代表全選手のうち知っている選手や、視聴した結果の評価などを尋ねる調査を実施しました。本学では五輪前にも全選手の認知や期待などを尋ねる調査を実施・発表していますが、このほど五輪前後の調査結果を比較分析し、ランキング形式にまとめました。

**感動指数**はフィギュアスケート・**浅田真央選手**が、**活躍満足指数**はスピードスケート・**長島圭一郎選手**が、**評価上昇指数**はスピードスケート・**穂積雅子選手**が、それぞれ“金メダリスト”となりました。なお、五輪前後でもっとも知名度が上昇したのは、スノーボード・**國母和宏選手**でした。

あわせて五輪の国内開催（夏季・冬季を問わず）の賛否を尋ねたところ賛成は47.7%。夏季五輪開催地の立候補の話題がある広島・長崎での開催は賛成38.5%、東京開催は賛成29.0%でした。

五輪前調査は1月29日（五輪派遣選手確定の翌日）から2月1日まで、性別と年代（20代から60代の各10年代）を均等割り付けした2万人を対象に実施し、五輪後調査はこの2万人を追跡する形で、同様に均等割り付けした1千人を対象に3月2日に実施しました。いずれもインターネット調査会社を通じて実施しております。

今回は速報版としてランキング形式の結果を発表していますが、この五輪前後にわたる調査は、競技の普及におけるスポーツイベントの影響や選手のイメージ形成など、スポーツマーケティングの研究に活かしてまいります。

## 各種ランキングの上位者

### ■選手

#### 1. 感動指数 = ①浅田真央選手、②高橋大輔選手、③鈴木明子選手

感動指数とは

五輪で中継（録画・ダイジェスト放送含む）を見た選手に関する評価を尋ね、評価の高低で付けた点数を合計したもの。五輪後調査だけで算出。どれほど多くの人の心を動かしたかが分かり、評価の全体的な規模の大きさを示す。

#### 2. 活躍満足指数 = ①長島圭一郎選手、②小平奈緒選手、③加藤条治選手

活躍満足指数とは

五輪前調査で算出した期待の大きさ（期待を尋ねた回答を点数化して合計したもの）と、五輪後調査の評価の高さのポイント差を順位付けしたもの。どれほど多くの人が期待を上回る活躍だったと評価したかが分かる。

#### 3. 評価上昇指数 = ①穂積雅子選手、②小平奈緒選手、③近江谷杏菜

評価上昇指数とは

五輪前調査で算出した期待の大きさに対し、五輪後調査の評価がどれほど上昇しているかを上昇率として算出したもの。いわば、五輪による評価の“うなぎのぼり”の度合い。

4. 知名度上昇指数 = ①國母和宏選手、②長島圭一郎選手、③目黒萌絵選手

知名度上昇指数とは

全選手について、五輪前・五輪後の両方の調査で知っているかどうかを尋ねた。この各選手の知名度を五輪前後で比較し、五輪によってどれほど知名度が上昇したかが分かる。

5. 観戦率 = ①浅田真央選手、②安藤美姫選手、③高橋大輔選手

観戦率とは

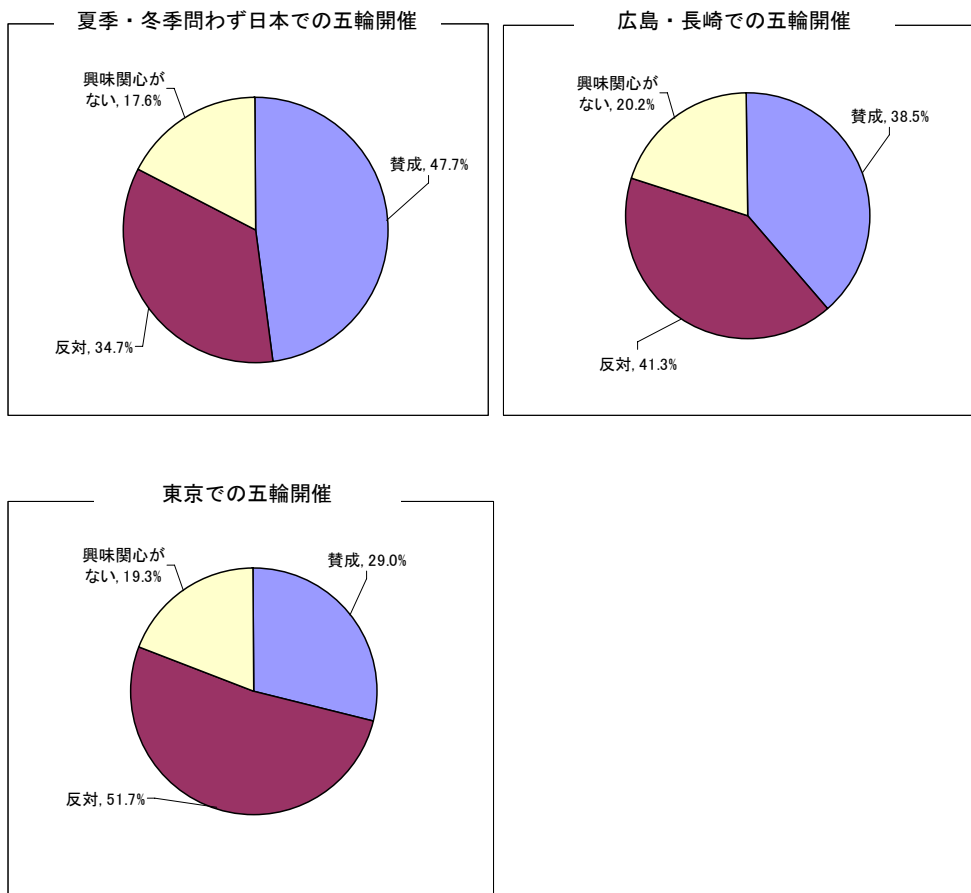
全選手について、五輪で中継（録画・ダイジェスト放送含む）を見たかどうかを尋ねた質問で、各選手の「見た」と回答された比率を順位付けしたもの。五輪期間中に各選手がどのくらい見られたかが分かる。

■競技

「競技感動指数」「競技観戦率」「五輪以外でも見たい競技」

いずれもフィギュアスケートが1位

■国内での五輪開催の賛否



【感動指数】

順位	選手名（敬称略）	ポイント
1	浅田真央	2,652
2	高橋大輔	2,595
3	鈴木明子	2,125
4	安藤美姫	1,917
5	長島圭一郎	1,641
6	小塚崇彦	1,629
7	織田信成	1,445
8	加藤条治	1,390
9	上村愛子	1,286
10	葛西紀明	1,051

※ 見た結果の評価を尋ねた質問の回答（「期待以上」、「期待どおり」「やや不満」「不満」）をポイント化し、これを合計した値。

【活躍満足指数】

順位	選手名（敬称略）	ポイント
1	長島圭一郎	1,087
2	小平奈緒	712
3	加藤条治	659
4	目黒萌絵	550
5	穂積雅子	549
6	國母和宏	469
7	田畑真紀	357
8	近江谷杏菜	335
9	本橋麻里	319
10	石崎琴美	247

※ 五輪前の期待の大きさと五輪後の評価の大きさのポイント差。

【評価上昇指数】

順位	選手名（敬称略）	上昇率
1	穂積雅子	1496.2%
2	小平奈緒	394.6%
3	近江谷杏菜	392.3%
4	貞包紘子	376.8%
5	國母和宏	350.6%
6	石崎琴美	345.6%
7	遠藤尚	325.0%
8	山浦麻葉	315.2%
9	村田愛里咲	301.4%
10	長島圭一郎	296.4%

※ 五輪前の期待と五輪後の評価から五輪による評価の上昇率を算出。

【知名度上昇指数】

順位	選手名（敬称略）	上昇値（%）
1	國母和宏	+ 50.7
2	長島圭一郎	+ 33.8
3	目黒萌絵	+ 32.8
4	小平奈緒	+ 26.4
5	加藤条治	+ 25.8
6	本橋麻里	+ 24.7
7	穂積雅子	+ 21.9
8	皆川賢太郎	+ 21.6
9	近江谷杏菜	+ 18.7
10	高木美帆	+ 17.4

※ 五輪前の知名度と五輪後の知名度の差。

【観戦率】

順位	選手名（敬称略）	%
1	浅田真央	87.3
2	安藤美姫	74.2
3	高橋大輔	73.2
4	織田信成	65.0
5	鈴木明子	62.0
6	上村愛子	57.3
7	小塚崇彦	51.5
8	長島圭一郎	44.2
9	葛西紀明	43.9
10	加藤条治	41.4

※ 五輪で中継（録画・ダイジェスト放送含む）を見た回答された比率。

### 【競技感動指数】

順位	競技名	ポイント
1	フィギュアスケート	2,595
2	スピードスケート	1,636
3	カーリング	1,525
4	フリースタイル（モーグル等）	1,004
5	スケートショートトラック	787

※ 見た結果の評価を尋ねた質問（「期待以上」「期待どおり」「やや不満」「不満」）をポイント化して合計した値。

### 【競技観戦率】

順位	競技名	%
1	フィギュアスケート	84.1
2	カーリング	63.2
3	スピードスケート	54.7
4	フリースタイル（モーグル等）	43.5
5	ジャンプ	42.0

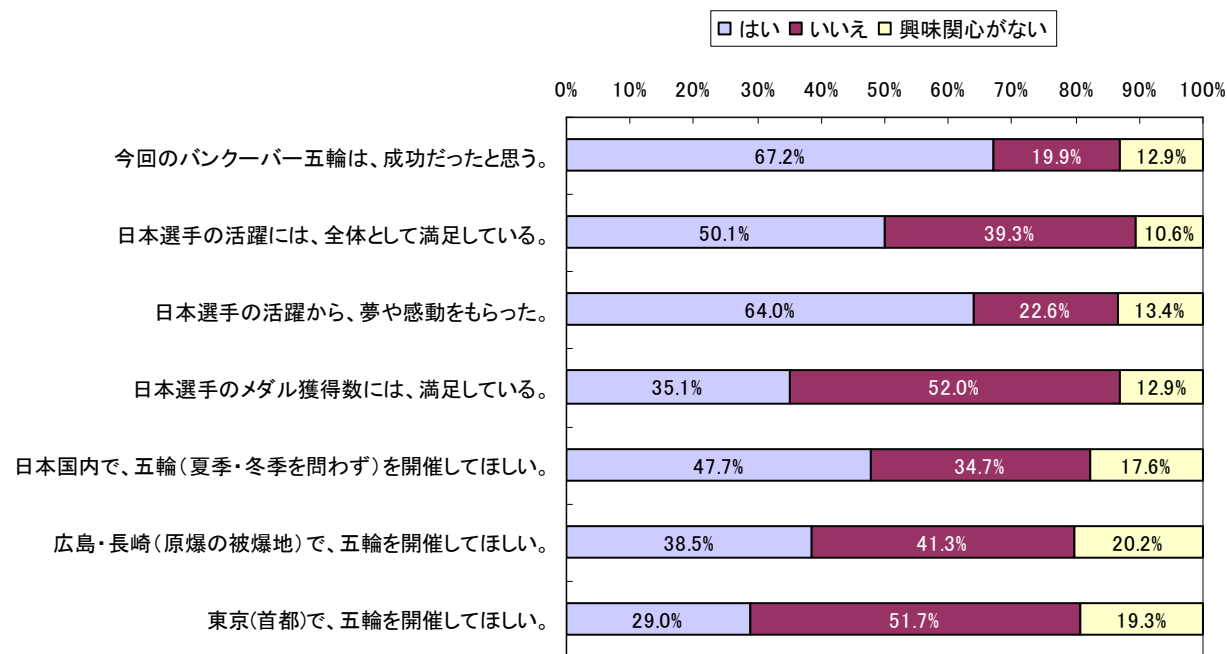
※ 中継（録画・ダイジェスト含む）を見た回答された比率。

### 【五輪以外でも見たい競技】

順位	競技名	%
1	フィギュアスケート	57.3
2	カーリング	26.3
3	ジャンプ	22.6
4	スピードスケート	20.3
5	フリースタイル（モーグル等）	17.9

※ 五輪以外でも見たい競技を複数回答で尋ねた結果の比率。

### 【五輪全般について】



## 調査概要

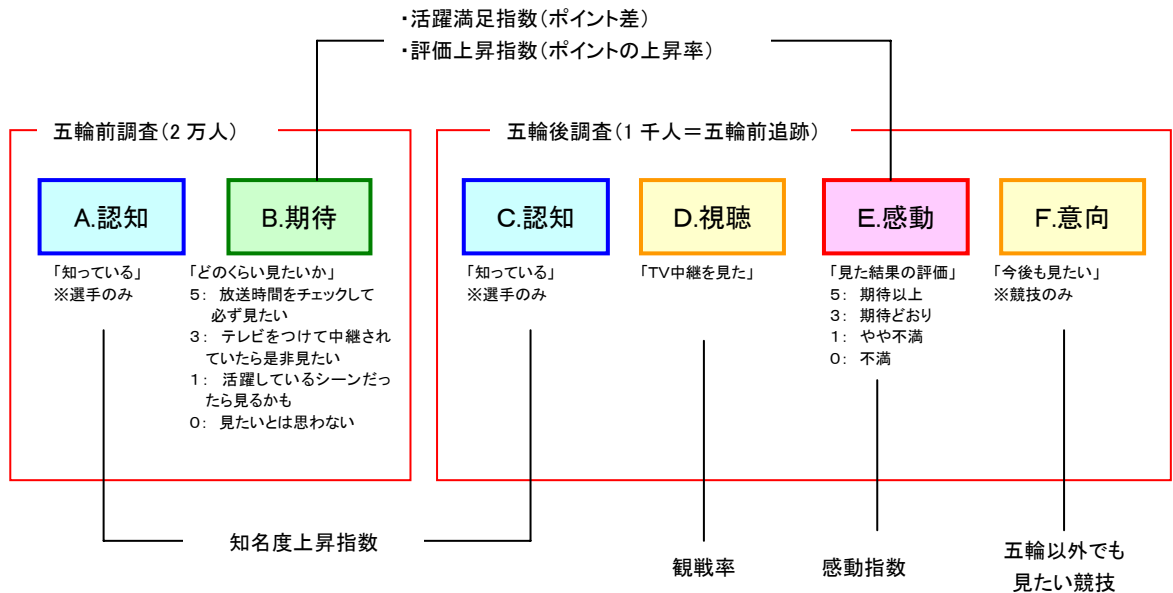
調査方法 : インターネット調査

調査期間 : ①五輪前  
1月29日～2月1日 4日間  
②五輪後  
3月2日 1日間

調査対象 : ①五輪前  
20代から60代までの各10年代で男女各2000名 合計2万人  
②五輪後  
20代から60代までの各10年代で男女各100名 合計1千人

分析対象 : バンクーバー冬季五輪の日本代表に認定された全94選手  
バンクーバー冬季五輪の全15競技

調査フレーム :



※ 「B.期待」のポイントは、2万人の値を1千人の値に補正したうえで、「E.感動」のポイントとの間で比較を行っています。